

企画書

Hidenori Yagyuda

Who? (初心に返って入学式の時の自己紹介)



名前: 柳生田 英徳 (ヤギユウダ ヒデノリ, YGD)

年齢: 34

【略歴】 学歴・職歴・プログラミング歴など

◆東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻卒
- 物性物理やってました。

◆株式会社INPEX
- Project Management
- Engineer
- New business development

★プログラミング歴
- Python/C++ (Atcoder 青)
- VBA

【今回成し遂げたいこと】

アルゴリズムで遊ぶのも楽しいけど、ものづくりを経験したい！
エネルギー・環境などを通じて何か便利に/スマートにできるようなものを作りたいです。
関係者皆さんと知り合って仲良く切磋琢磨することも大きな一つの目標です！

SDGs ? ?

17個の目標。CO2の排出量とか興味あります？

(´ω`)知らんがな

SDGsのために貧しい生活をしたら本末転倒。

エネルギーにかかわってきたからこそ実感。



プラスチック規制のヨーロッパ

飲み物はペットボトルではなく瓶が大半。

プラスチックバッグが100円近い。

「プラスチックは悪」という**教育**が浸透。

CO2でも同じことが？

結局教育・日々の気づきが重要では？ to 子供。

家のクーラーとか冷蔵庫とかテレビとか子供は知ったことではない。

自分の移動は体感できる？？

Product (案)

子供にCO2排出量の気づきを与えるアプリ。(別に減らさなくてよい。)

以下概要...

Google タイムラインで日々の移動をトラック。

データをExportして、移動の種類からCO2排出量を(適当に)計算 & データの可視化。

排出量に合わせて木が成長するとか何かしらの遊びも欲しい。

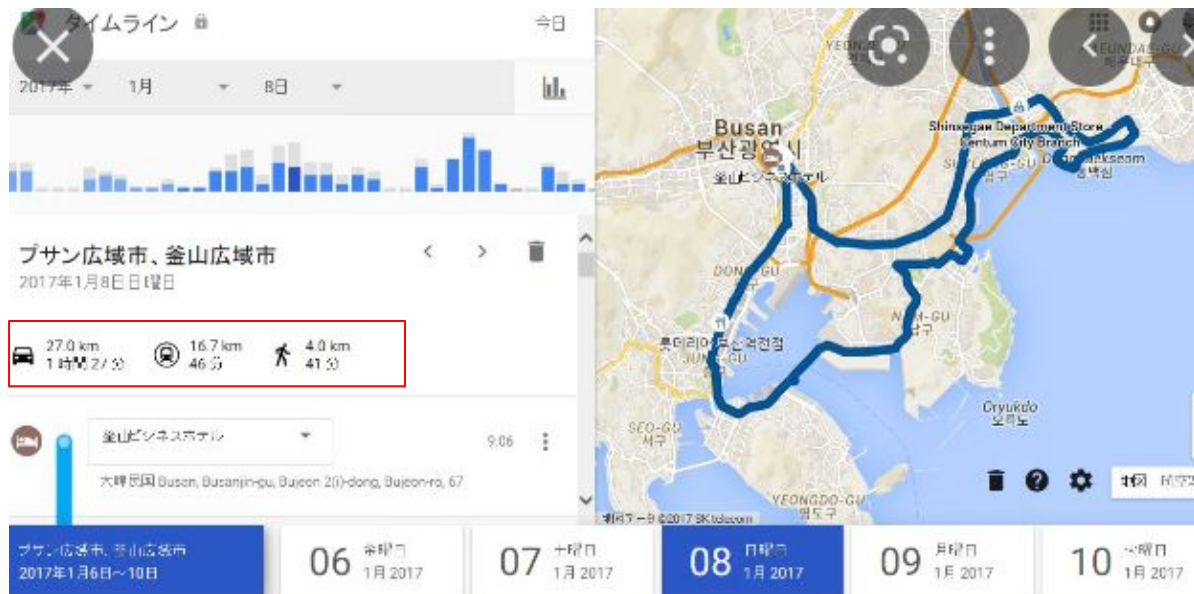
市場！ビジネスモデル！とかではなく、単なる気づきとなる教育の扱い。

概要

移動はグーグルが判断。

集計して

- ・保存
- ・可視化



正直なところ・・・

位置情報を使って、便利だったり、興味が湧いたりだったり、教育系だったり、、というものを作りたいという気持ち。

まだ中身ちょっと悩んでいます。